

平成 30 年 2 月 23 日
九電みらいエナジー株式会社
九州電力株式会社

鹿児島県指宿市において^{やまがわ}山川バイナリー発電所の営業運転を開始しました

ー地熱の未利用エネルギー有効活用による発電ー

九電みらいエナジー株式会社（本社：福岡市中央区、社長：穂山泰治）は、九州電力株式会社（本社：福岡市中央区、社長：瓜生道明）が所有する地熱発電所の山川発電所（鹿児島県指宿市）構内において、平成 28 年 8 月から建設を進めてまいりました「山川バイナリー発電所」の営業運転を本日開始しました。

本事業は、山川発電所で発電に利用できずに地下に戻す還元熱水^{※1}の未利用エネルギーを、地熱バイナリー方式^{※2}により有効活用し発電するものであり、九州電力が還元熱水（熱）を供給し九電みらいエナジーが発電所を運営する、九電グループ一体での取り組みです。

これからも九州電力と九電みらいエナジーは、国産エネルギーの有効活用、地球温暖化対策として優れた地熱発電の積極的な開発、導入を推進してまいります。

【山川バイナリー発電所の概要】

所在地	鹿児島県指宿市 ^{やまがわ} 山川小川 2303 番地（九州電力(株)山川発電所構内）
発電所出力	4,990kW（発電端）
事業者	熱供給者：九州電力株式会社 発電事業者：九電みらいエナジー株式会社
発電方式	空冷式バイナリー発電方式（使用媒体：ペンタン）
工事開始時期	平成 28 年 8 月 2 日
運転開始時期	平成 30 年 2 月 23 日

※1 還元熱水：地下深部から取り出した地熱資源（高温の蒸気・熱水）のうち、蒸気はタービンを回して発電に利用し、熱水は井戸を通じてまた地中へ戻します。この地中へ戻す熱水を還元熱水といます。

※2 地熱バイナリー方式：地熱流体（蒸気・熱水）を熱源として水より沸点の低い媒体を加熱・蒸発させ、その媒体蒸気でタービンを回し発電する方式です。

■ 山川バイナリー発電所の外観



■ 山川バイナリー発電所の場所



地図データ：九州電力ホームページ



地図データ：Google Maps